PTA会長あいさつ

【1年間ありがとうございました】

1年間、PTA活動にご理解とご協力いただき誠にありがとうございました。長かったコロナ禍もようやく収束に向かい、今年度のPTA活動はコロナ前と同様に、たくさんの方々と触れ合うかたちで活発に取り組み、おかげさまで多くのイベントが盛況のうち安全、無事に終えることができています。ご尽力いただきました保護者の皆さま、教職員学校関係者の皆さま、PTA役員の皆さまに心より御礼申し上げます。

同じ志を持って開明中学校・高等学校に入学した子供たちは、毎日、勉学・スポーツに励みながら、生徒間のつながりを通じて、相互理解・共感を育み、人間として大きく成長しています。

PTA活動は、"子供たちが運んでくれたご縁"でつながった私たち保護者同士が、子供たちを見守りつつ、互いにサポートと助け合いをしながら、様々な交流を通して、新しい発見や経験、心の豊かさを得られる場として素晴らしい価値のあるものであったと感じています。また、今後も是非そのようなかたちで発展していただきたいと願っております。

これから、中学校・高等学校ともに新学期を迎える時期となります。卒業生にとっては新たな挑戦を意識する時期、新入生にとっては希望を抱く時期となりますが、限りない可能性を秘めた子供たちの成長はまだまだ続いていきます。PTA活動もますます発展していけるよう、今後とも皆さまご支援、お力添えよろしくお願い申し上げます。

（PTA会長　首藤 宏文）

活気復活!! 開明文化祭

9月10日(日)開明文化祭が盛大に開催されました。4年ぶりの通常開催で、生徒の家族や友人、近隣の方にもご参加いただき、来年度の入学希望者も多く来校されました。開門時には、入場を待つ長い行列ができており、久しぶりの活気を感じました。PTAでは、バザーや制服リサイクルに加え、前回から開明せんべいどら焼きの販売、今年度は食べ物販売も復活しました。事前に予約をとったものには多くの希望があり、またバザーや食べ物販売も朝から大盛況で、午後まで商品が残るか心配になるほどでした。

恒例の卒業生ブースも多くの卒業生の協力を得て、たくさんの方の相談に応じることができました。どのブースも長い行列ができ、お客様をお待たせすることもありましたが、校内整理の担当をはじめ、各ブースの入念な準備と、お手伝いの委員の皆様のお働きにより、大きな混乱もなく皆様に楽しんでいただけたのではないかと思います。生徒たちの発表や展示も、大勢の観客が訪れたことで、忙しくも楽しそうで、今年のテーマ「LUCE」(光)のように学校中が活気に満ち溢れていたように感じました。

最後になりましたが、バザー・制服リサイクルに物品をご提供いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。開催にあたりご尽力いただきました教職員の皆様をはじめ、関係各位に心より感謝申し上げます。

（PTA副会長　渡辺 深幸）

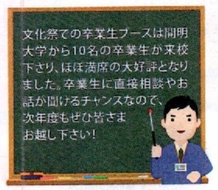
進路対策講演会ご報告

7月8日(土)体育館にて、進路対策講演会を開催致しました。第一部は泉尾浮太氏、駿台予備学校　大阪校校舎責任者をお招きし、「2024年度入試とこれからの受験環境」中高生の保護者として考えておきたいこと」をテーマに講演を頂きました。2021年1月からスタートした「大学入学共通テスト」の最新情報や保護者としての子どもへの向き合い方等を、広島弁を交え親しみやすくお話し下さいました。保護者として大変勉強になる素敵な機会となりました。

第二部の毎回大好評の卒業生と教諭によるトークセッション。開明の先生方が軽快な口調で、卒業生の皆さんから学習法、自習室活用、模試の結果、今だから言えるエピソード等、本音を存分に引き出してのトークセッションとなりました。

講演会開催にあたりご協力いただいた先生方、卒業生の皆さん、そして酷暑の中、ご参加いただいた皆様ありがとうございました。

（進路対策委員長　前田 里華）



中学体育大会 ～一致団結～

10月15日(日)清滝グラウンドにて第33回開明中学校体育大会が開催されました。前夜の雨でグラウンドの状態が悪く、芝生上でできる団体競技に絞って行われました。一年生は緊張しながらもフレッシュな姿が印象的でした。二年生はより自信を持って競技に取り組んでいたように感じました。三年生は中学最後の体育大会という特別感を持って参加し、競技に全力を注いでいました。クラスの結束力と活気ある雰囲気のなか、出来る事を一生懸命やり切る子ども達の姿に心打たれました。七色のカラフルなハチマキが舞い、笑顔が弾けた一日でした。競技が細小となってしまったことは残念でしたが、たくさんの予定変更にもかかわらず、子ども達に寄り添って下さった先生方の献身的なサポートに大変感謝しております。

（広報委員　中1班）

健康推進委員会講習会

10月7日(土)剣道場にて、Ru:jenne(ルジェンヌ)藤原寛子先生をお招きし、「色の力を借りてなりたい自分になる」～自分を癒す色と活かす色を使い分けていますか?～と題してパーソナルカラー講習会を行いました。先生の明るく和やかな雰囲気のもとで、色の力や意味について、またパーソナルカラーを知るメリットや色彩心理による効果などを学ばせていただきました。参加者の方々からは、「色の力の話がとても勉強になりました」「自分だけでなく家族にも活用していきたい」「効果が出るのが楽しみです」など、今後の生活に活用したいといった声を多くいただき、大変有意義な時間を過ごしました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

（健康推進委員長　石井 晴美）

あの人気気象予報士に学ぶ

10月28日(土)読売テレビ気象キャスター蓬莱大介さんを講師にお迎えし、「空を見上げて～子どもたちに伝えたい、大切なこと～」をテーマに、昨今の気候変動と災害への備えについて講演をしていただきました。

当日、開演1時間前に颯爽と来校された蓬莱さん。顔は小さく、脚が長くて背も高い!!なんでもサラッとこなしてしまいそうですが、お話を聞いてびっくり。TVで拝見する気象予報のコーナー数分であっても、その準備には4時間の時間を費やすとのこと。とにかく努力を惜しまない方なのです。その熱量は、参加した生徒にも伝わったようで、「僕も蓬莱さんのような学校中に満ち溢れていたように感じました。

最後になりましたが、バザー・制服リサイクルに物品をご提供いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。開催にあたりご尽力いただきました教職員の皆様をはじめ、関係各位に心より感謝申し上げます。

（PTA副会長　渡辺 深幸）

国宝姫路城とフレンチフルコースでの優美な一日

11月10日(金)総勢110人にて、本年度の社会見学は10年ぶりの姫路へ。午前中は、「白鷺城」の愛称で親しまれている国宝姫路城を見学。大天守は外観5重、内部は地下1階、地上6階の造りで見どころが多く、あっという間の1時間でした。ランチは、モダンウェディングの「姫路モノリス」へ。社会見学初(?)の飲み放題プランと、特選牛ヒレ肉のローストがメインのフレンチフルコースにお腹も心も大満足。

午後は、かつての姫路城下町であった家老屋敷跡公園にて、土産物屋巡りを満喫。「ぜひ来年も参加したい」「ひとりの参加でも楽しめた」とのお声を多数いただきました。今回楽しんでいただけたことをきっかけに、「次は運営側として委員をやってみよう」という保護者の方がいらっしゃれば幸いです。

ぜひ、来年も奮ってご参加ください!

（企画委員長　前田 裕子）

高3生恒例 年越しそば

令和5年大晦日、毎年恒例の年越しそば行事が行われ、PTA高3学級委員会から受験勉強に励む高3生へカップ麺のお裾分けが振舞われました。この日のために駆けつけてくれた卒業生から、手書きの応援メッセージが添えられたカイロを受け取ると、緊張した面持ちの生徒たちにも笑顔がこぼれました。受験勉強の合間のひととき、教室でクラスメイトと共に温かいお蕎麦を食べたことは、忘れられない思い出になったことでしょう。本番に向けてラストスパート自分を信じて、最後まで諦めずに夢を叶えてほしいと願っています。頑張れ、高3生!

（PTA役員　葵 容子）

編集後記

皆様のおかげで、無事48号を発行することができました。

お忙しい中、原稿依頼に快くご協力頂きました先生方、関係者各位に心よりお礼申し上げます。

1年間広報委員として、学校行事など様々なPTA活動に関わりながら、楽しく活動することができました。

来年度も宜しくお願いします。

広報委員一同

開明PTA新聞

【第48号】
開明中学校・高等学校
電話／06-6932-4461
発行責任者
PTA広報委員会

卒業おめでとう!!

卒業生へのメッセージ

3年A組担任　柏 恭平
ご卒業おめでとうございます。みなさんと過ごした日々はとても充実したものでした。そんな高校生活も今日で終わりを迎えます。これからはそれぞれが選んだ道を歩むことになります。辛いことも困難なこともあるかもしれません。そんな時はこの学校での6年間を思い出してください。ここで紡わる私ならきっとここまで来れなかった!と勇気をもらえるはずです。この学校で培ってきた経験を活かして、これからの人生を歩んでいってください。そして、これからも様々なことに興味を持ち、学びを深めていってください。

3年A組副担任　水上 誠
哲学者サルトルは、「実存は本質に先立つ」と述べ、人間はみずからつくるところ以外の何ものでもない、としています。皆さんが今後、それぞれの道を歩む中で自分という人間を作っていくことを期待しています。

3年B組担任　藤崎 恭宏
卒業おめでとう! 毎日学校へ来て、制服姿の君たちと会う。そんな当たり前の日々が終わるのかと思うと、少しの寂しさを感じます。あって1年共に過ごしました。とても濃密な時間でした。ありがとう!
今後の活躍を陰ながら応援しています。
君の未来だ 君の世界だ どんな物語にでも出来る 目一杯の祝福を君に
(YOASOBI 祝福 より)

3年B組副担任　篠原 聖史
ご卒業おめでとうございます。皆さんがこれまで学んできたことを活かして、様々な方面で活躍してくれることを期待しています。
求めよ、さらば与えられん。

3年C組担任　川那部 顕
卒業おめでとうございます。高校3年生の皆さんと過ごした日々が、そして皆さんの存在自体がかけがえのない財産です。人生は一喜一憂です。嬉しい時も楽しい時も、苦しい時も辛い時も、二度と同じ瞬間は訪れません。そして、それぞれの瞬間と真摯に向き合いながら生きていれば、それが自らを磨くことに成長させてくれる糧となります。多くを糧としてより一いっそう成長した皆さんに再会できることを心待ちにしています。

3年C組副担任　伊藤 さつき
世の中にはまだ知らないことが沢山ある。
それらは実は奥深くで輝かっていて、探し求める者だけに与えられる宝物のようなものかもしれない。
知の探求者になり人生を楽しもう。
ご卒業おめでとうございます。

3年D組担任　古庄 誠
みなさん、卒業おめでとうございます。まわりの人を助けることによって、まわりから助けてもらえる大人になってほしいと思います。目標を持つのであれば、前向きに考えたいですよね。成功する人は必ずその前に挑戦しています。挑戦しないなんてもったいない! 大学に進学してから挑戦した色々なこと、報告しに来てくださいね。
楽しみに待っています!!

3年D組副担任　濵野 恵美
ご卒業おめでとうございます。
迷ったときは、自分の人生をより素晴らしく豊かにする選択肢を選んでくださいね。
そして、自分以外の人の幸せも願える人でいてください。
感謝と敬意を込めて

3年E組担任　桶 友和
卒業おめでとうございます。
ゴールではなく、ここからが新たなスタートです。自分探しをしながら人との出会いを大切にし、失敗から学ぶことを忘れず、大きな人間になって下さい。

3年E組副担任　豊田 宗則
「強絆」
どんなに不安でも 前を向いて歩こう
挫けそうになったら 共に歩んだ日を思い出そう
君は決して一人じゃない 強い絆でつながってる
また会おう 儚かし青春のこの場所で

3年E組担任　西岡 崇
ご卒業おめでとうございます。
中学3年生の時から4年間お付き合いをさせていただきました。
自分の人生において印象に残っている1つは、旅行先の信州から富士山を見たときに自分の愚かさを痛感したことです。こんな富士山も あったのかと。物事を可能な限り広い角度から見て様々なことを吸収し、有意義な人生を送って下さい。

3年F組副担任　脇 大輔
ご卒業おめでとうございます。
「先んずれば人を制す」競争がより激しい社会に出ていく皆さんに覚えておいてほしい言葉です。
健康第一でますますのご活躍をお祈りします。
Study harder!
You can make it!

3年F組担任　足立 雄一
高校卒業というのは長い人生における1つの通過点に過ぎません。皆さんが将来の目標を達成するためには、これからいくつもの壁を乗り越えなければなりません。大学入試でうまくいった人も、うまくいかなかった人も、今後の取り組み方次第で大きく変わります。皆さんがこれからも努力し、充実した人生を送られることを心から願っています。

3年F組副担任　中村 祥久
make the impossible possible
卒業おめでとう! 科学技術が発展した現在でも、まだまだ分からないことがたくさんあります。
みなさんも進学したら、それぞれの分野で世の中の不可能なことを可能に(breakthrough)して下さい。

開明大学に参加しませんか?
卒業生有志による企画メンバー募集中!

進歩と調和の担い手に

学校長　林 佳孝

卒業おめでとう。卒業したとは言え、皆さんはこれからも学び続け、成長を続ける。自分たちの知と行動がこれからの社会を創っていくのだという自覚と志を持つべし。今、地球上には分断の嵐が吹き荒れる。力による威嚇と緊張の高まり、武力衝突と報復の連鎖は人々の生活や命をも脅かす。さらには地球沸騰化や異常気象、頻発する自然災害。人類の活動が地球に取り返しのつかないダメージを与える現代は、新たな地質時代「人新世」として位置づけられる。「人類の進歩と調和」とは54年前の大阪万博のテーマ。人類の知見技術を継承、発展させる皆さんの学びと行動が、進歩と調和の社会の実現に繋がることを強く願う。

卒業おめでとうございます

高3担当教頭　進路指導部長　重康 学

2023年は世界も日本も、19世紀に気象観測が始まって以来、平均気温が最高となりました。私も夏合宿への往き帰り、異常な暑さで「これが地球沸騰の時代なのか」と感じたのを覚えています。年末、日本は国際会議で気候変動問題に最も後ろ向きであるとされ「化石賞」を贈られてしまいました。日本は市民レベルでも他国に比べ地球温暖化に対する意識がかなり低いようです。この問題は地球規模で国際的な利害を伴い、平和や民主主義を脅かすことにも繋がりかねません。たとえ大変なことができなくても幅広く関心を持ち、客観的に物事を考えて社会参画する、そんな大人になってほしいと願っています。

中学卒業に向けて

中学3年学年主任　久松 宏次

卒業おめでとうございます。いよいよ高校生になります。将来社会のためにどのように貢献するかを考え始める時期でもあります。すなわち進路ですね。ただ、あなたの進路は一朝一夕で決まるものではありません。高校でさらに教養を深めると同時に、様々な行事や活動を主体的に捉え、自ら決断し、他人のために行動し、そして他人の過ちを許せる良きリーダーとなることで、自らを知ることができ、その進路も見えてくるはずです。高校入学後も一緒に悩み、一緒に考えていきましょう。

感謝の気持ちを

中学校教諭　竹森 順一

卒業おめでとうございます。

ありきたりですが、今日というこの日に、君たちをここまで育ててくださった保護者の方々に、照れ臭いでしょうが、「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えてください。生まれたての赤子を開明高校卒業まで育て上げるということは、本当に大変なことなのです。

また、高校を卒業したからといって、君たちの学びが終わるわけではありません。これからも、いろいろな人たちとともに楽しく学んでください。さらに、世の中をより良く生きるためだけに学ぶのではなく、この社会をより良く変えるために学んでください。

卒業おめでとうございます

高1・高2担当教頭　川嵜 徹雄

高等学校を卒業する皆さんの前には、これから多くの、また多様な機会(チャンス)が訪れて来ます。その機会を掴むのか見送るのかは、他ならぬあなたの準備と意気込み次第なのです。日々に自分を磨くことを怠っている人は、準備不足のためにその機会に乗ることができません。それどころか、それがチャンスであることに気づかないことさえあります。

中学校・高等学校での勉強は一旦終わりますが、これから皆さんがすることになる広い意味での勉強は、すべてチャンスをつかみ、幸せになるためのものです。これからも「研精而不倦」前向きに頑張って行きましょう!

卒業生保護者の会
開明会
開明会は卒業生保護者として卒業生が活動する行事(開明大学、成人会、文化祭、受験生激励年越しそば等)の後ろだてとなり、その活動を通して在学中からのご縁を築けております。